なすしおばら 社協だより

令和元年8月5日発行
第77号

こころまる ふれあいの旅!!
～地域共生社会の実現に向けて～

今回はとちぎボランティアネットワーク県北支部にお邪魔してきたよ!!

「もったいない」を「ありがとうに」…フードバンク事業のお手伝いをしてきたよ。車に積んである食料は生活に困っている世帯や福祉施設に運ばれるんだ!!

写真：フードバンク事業で食料を積み込む様子 【関連 P10】

市内の音訳ボランティアのみなさまの協力を得て、目の不自由な人のために音訳版社協だよりを発行しています。
詳しくは社協総務課までご連絡ください。

平成30年度の事業報告をします

市の地域福祉計画と一体的に策定した「地域福祉活動計画」（平成29年度～令和３年度）の２年目は、計画に沿って各課題の解決に向けて取り組みました。

また、地域住民同士の助け合い活動を推進するため、地域ぐるみで見守り体制づくりや自治会などが主体となった地域福祉活動の支援を行うなど地域のつながりをサポートさせていただきました。さらには、平成30年10月から西那須野･塩原エリアのボランティアの強化を図るため、西那須野地区内にボランティアセンター本所を設置し、ボランティアセンター黒磯とともに様々なボランティアに関する相談・紹介等の充実化を図りました。その他、日常生活での困りごとや不安を抱えている人の相談支援なども行いました。ここでは事業の一部を紹介します。

地域の福祉活動を支援するために

地域住民助け合い事業

平成27年度から進めてきましたこの事業は、市内15カ所の公立公民館エリアを単位とした地域活動住民助け合い活動をめざし、これまでに14地区の公立公民館（黒磯公民館、稲村公民館、とようら公民館、鍋掛公民館、東那須野公民館、高林公民館、西那須野公民館、狩野公民館、南公民館、西公民館、三島公民館、大山公民館、塩原公民館、ハロープラザ）に１名ずつ地域支え合い推進員を配置し、地域ぐるみでの見守り体制づくりを進めました。なお、平成30年度現在、73の自治会が見守り活動に取り組んでいます。

地域福祉活動補助事業

自治会等が主体となり地域で行う地域福祉活動へ補助金を交付し、地域の連携と協力体制を構築し地域の課題解決への支援に取り組みました。

補助事業件数：100団体　191事業　**補助金交付額**：9,102,000円

福祉協力店

地域福祉活動を積極的に推進している事業所等を福祉協力店として登録し、地域福祉活動の拠点づくりを推進しました。　**登録事業所**：85件

地域の福祉サービスの充実のために

日常生活自立支援事業（あすてらすなすしおばら）

認知症高齢者や障がい者などが、地域で安心して生活できるように支援しました。　**契約件数**：160件

生活困窮者自立支援事業・家計相談支援事業

生活上の不安（住居や就職等）を抱える人への自立に向けた支援や、困窮世帯の家計相談支援などを行いました。　**相談件数**：145件

地域福祉活動補助事業
一区町やきそば祭り事業の様子

給食（黒磯地区）・配食（西那須野地区）サービス事業

ボランティアの協力をいただき、週2回お弁当を届けながら利用者の生活を見守りました。

利用者数：「給食サービス」52人　「配食サービス」118人

ふれあい相談事業（心配ごと相談、無料法律相談）

日常生活上の相談や、弁護士による専門的な法律についての相談を行いました。

相談件数：「心配ごと相談」33件　「無料法律相談」344件

ボランティアを支援するために

ボランティア交流会での
避難所運営ゲームの様子

ボランティアセンターの運営

ボランティアに関する相談や、ボランティアの紹介等を行いました。

センター相談件数：2,993件
ボランティア登録者数：1,771人（団体74、個人99人）
マッチング件数：740件　活動人数：延べ1,328人

介護サービスの充実のために

居宅介護支援事業所

ケアプラン（居宅サービス計画）を作成し、サービス提供事業者等と連携調整を図りながら、在宅での自立した生活を営むことができるよう支援しました。

延べ利用者数：1,943人（介護予防支援を含む）

訪問介護事業所

利用者宅を訪問介護員が訪問し、身体介護（食事・入浴介助など）や家事援助（掃除・洗濯など）のサービス支援を行いました。 **延べ提供回数**：7,272人

※H31.３.31をもちまして事業を終了しました。

障がいのある方を支援するために

相談支援事業所の運営

障害福祉サービス等利用計画を作成し、福祉サービス事業者等との連絡調整、計画の定期的な見直し（モニタリング）を行い、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう支援しました。 **延べ利用者数**：511人

地域生活支援事業「ふれあいの森」の運営

企業等からの請負作業や農作業などを行い、利用者一人ひとりの能力や適性に応じ、地域の障がい者のための通所による援護事業を行いました。

利用者数：18人

生活介護・就労継続支援事業「心の里」「つくし」の運営

障害者総合支援法に基づく多機能型事業所として、生活介護・就労継続支援事業を行いました。企業等からの請負作業や農作業、クッキー作りなど生産活動の就労の機会を提供しました。また、身体機能の維持、生活能力の向上のために支援を行いました。

利用者数：「多機能型事業所　心の里」25人
「多機能型事業所　つくし」27人

ふれあいの森
塩原温泉まつり参加の様子

心の里
クッキー作りの様子

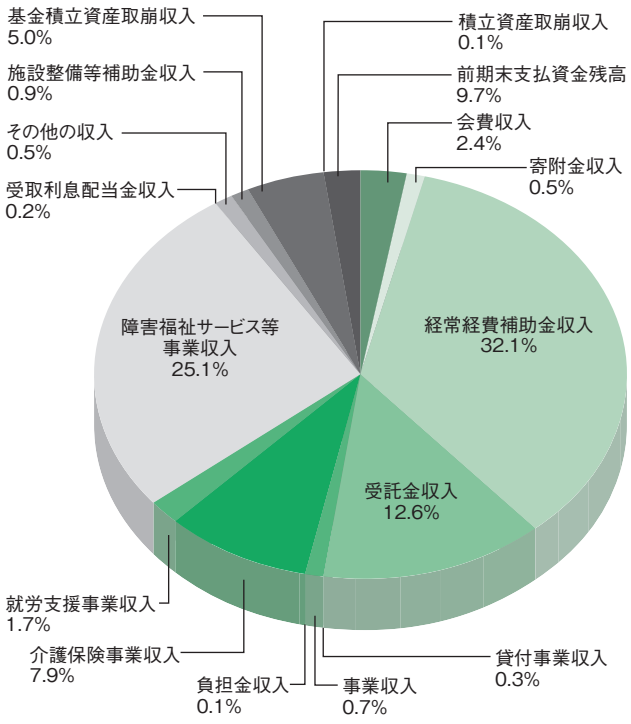
つくし
レクリエーション事業の様子

平成30年度の決算報告をします

収　入

（単位：円）

No.	項　目	決算額
1	会費収入	12,470,100
2	寄附金収入	2,654,258
3	経常経費補助金収入	166,055,912
4	受託金収入	66,084,194
5	貸付事業収入	1,549,500
6	事業収入	3,697,371
7	負担金収入	645,722
8	介護保険事業収入	40,692,627
9	就労支援事業収入	8,818,347
10	障害福祉サービス等事業収入	129,666,038
11	受取利息配当金収入	1,147,151
12	その他の収入	2,481,139
13	施設整備等補助金収入	4,360,284
14	基金積立資産取崩収入	25,643,000
15	積立資産取崩収入	690,000
16	前期末支払資金残高	50,219,526
合　計		516,875,169

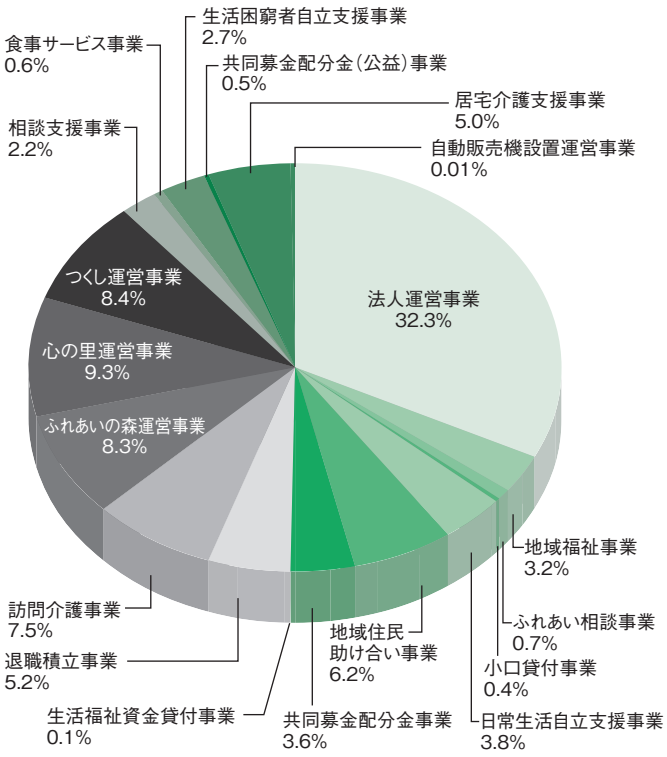


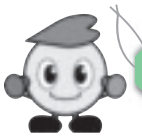
支　出

（単位：円）

No.	項　目	決算額
1	法人運営事業	153,857,850
2	地域福祉事業	15,464,029
3	ふれあい相談事業	3,358,113
4	小口貸付事業	1,892,689
5	日常生活自立支援事業	18,049,764
6	地域住民助け合い事業	29,693,082
7	共同募金配分金事業	17,390,205
8	生活福祉資金貸付事業	283,172
9	退職積立事業	24,940,726
10	訪問介護事業	35,743,549
11	ふれあいの森運営事業	39,529,326
12	心の里運営事業	44,346,821
13	つくし運営事業	39,897,499
14	相談支援事業	10,285,617
15	食事サービス事業	3,009,900
16	生活困窮者自立支援事業	13,015,372
17	共同募金配分金（公益）事業	2,170,629
18	居宅介護支援事業	24,055,254
19	自動販売機設置運営事業	51,230
合　計		477,034,827

当期末支払資金残高	39,840,342





役員・評議員を紹介します

役　職	氏名（敬称略）	選出区分
会　長	田口　三知子	社会福祉事業の経営に関する識見を有する者
副会長	大森　利男	民生委員・児童委員協議会連合会
常務理事	中村　裕二	社会福祉事業の経営に関する識見を有する者
理　事	松本　和重	社会福祉事業の経営に関する識見を有する者
	佐藤　峰子	ボランティア団体
	小出　清子	ボランティア団体
	橋本　秀晴	自治会長連絡協議会
	田代　正行	社会福祉関係行政機関
	冨山　芳男	社会福祉関係行政機関
	大石　剛史	学識経験者
監　事	鈴木　博	財務管理について識見を有するもの
	五味渕　薫	社会福祉事業について識見を有するもの

（任期：令和元年６月25日から令和２会計年度に関する定時評議員会終結の時まで）

役　職	氏名（敬称略）	選出区分
評議員	原　修一	介護保険事業者
	田代茂樹	民生委員・児童委員協議会連合会
	渡邉　シヅイ	民生委員・児童委員協議会連合会
	寺戸博道	民生委員・児童委員協議会連合会
	本澤　恵美子	社会福祉団体（当事者組織）
	関谷眞夫	社会福祉団体（当事者組織）
	髙橋　美代子	社会福祉団体（当事者組織）
	伊吹桂子	ボランティア団体
	渡邉民生	自治会長連絡協議会
	風田川　芳夫	自治会長連絡協議会
	相馬秀和	保護司会
	増渕祐子	地域包括支援センター
	人見延江	特定非営利活動法人（高齢者）
	西田　由記子	特定非営利活動法人（児童）
	遠藤真史	特定非営利活動法人（障害者）

（任期：平成29年４月１日から令和２会計年度に関する定時評議員会終結の時まで）

「福祉のお仕事就職フェア（県北エリア）」のお知らせ

日　　時：令和元年８月24日（土）午後１時～午後３時30分（受付は３時まで）
会　　場：健康長寿センター（住所：那須塩原市南郷屋5－163）
内　　容：福祉の仕事に就きたい方と求人事業所との相談会。
福祉の仕事や資格の相談もできます。
対象市町：那須塩原市、大田原市、矢板市、さくら市、
那須烏山市、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町
問い合わせ：栃木県社会福祉協議会　福祉人材・研修センター
TEL　028－643－5622

令和元年度地域福祉活動補助事業

111団体 206事業に 10,021,000円を交付

近年、少子高齢化が急速に進むとともに、個人の価値観が多様化することにより、地域の希薄化が進み、地域住民間での親しい付き合いや相互に支え合うことが難しくなってきています。社会福祉協議会では、そのような地域の課題解決に向けて自治会等が主体的に実施する福祉活動に対して補助金を交付しています。今年度は、111団体から206事業の申請がありました。どのような活動へ補助金を交付しているか、いくつか紹介します。

【心配な方への見守り等の活動】

◇地域内の高齢者や障がい者、病気がちな方への見守り活動をしています。月２回の回覧板時や公民館での活動を活用した見守り・声かけなどを実施しています。中にはゴミ捨てが難しい方に対してのお手伝いなどを行っている地区もあります。普段からの気にかけあいが、緊急時の早期対応や災害時のスムーズな避難・救助につながります。

【防災・避難訓練】

◇防災・減災についての研修や訓練の実施、実際に地域内に災害時に支援を要する方がどれだけいるのかを把握するなどの活動を行っています。見守り活動と連携した活動を行っている地区も多くなってきています。

【給食サービス・友愛訪問】

◇地域内の一人暮らしの高齢者の方や高齢者のみの世帯等へ定期的に手作りのお弁当を届けたり、季節に合わせたプレゼントを届けたりしながら交流をしています。

【福祉の理解を深めるための研修・講演会】

◇地域のなかには様々な方が暮らしており、互いに理解が深まるように障がいや認知症等に関した研修・講演会を実施しています。

【子ども・子育て世帯への活動】

◇自治公民館を活用しての子育てサロン、育成会や学校と連携しての多世代交流等の活動を実施し、地域全体の活性化につながっています。

お知らせ

那須塩原市にはたくさんの方が暮らしています。その中には一人暮らしで話し相手がいない方、病気や障がいがある方、介護が必要な方、子育てに悩んでいる方、お金が無く食べていくことも困難な方や誰にも相談できない悩みごとを抱えて何らかの支援を必要としている方がいます。そうした方への支援をとおして法や制度だけでは補うことのできない多様な地域ニーズに対し、住民が主体となって問題を解決し、支え合える地域づくりを社会福祉協議会では推進していきます。そのような時代の変化に合わせて、この地域福祉活動補助事業も更に福祉的な活動への補助に特化したものにするために、来年度から新要領で実施していく予定ですので、よろしくお願いいたします。

＜問合せ先＞　那須塩原市社会福祉協議会　地域支援係　TEL　0287－37－5122

あなたのまちの福祉協力店 No.6

※福祉協力店とは…地域での見守りや困りごとへのサポート体制をお互いさまの支援の仕組みとして、誰にでもやさしい地域福祉活動の拠点をつくるために、地域福祉活動を積極的に推進している事業所等を福祉協力店として登録する制度です。

現在86の事業所が登録しているよ。どのような福祉協力店があるのか、シリーズで紹介していくね！

（株）エヅリン
『はこぶ』と『整理』の総合会社

今回紹介する福祉協力店は「（株）エヅリン」です。平成29年1月に福祉協力店となり、社協が発行する情報誌やポスターの掲示に協力していただいています。

「エヅリン」の主な事業内容は、廃棄物収集運搬業・貨物運送事業・家財整理・遺品整理・生前整理・引っ越し・特殊清掃・家電販売・家電リサイクル・RVパーク駐車場の運営等と非常に多岐に渡ります。このような事業に取り組むにあたり、少子高齢化や生活課題の多様化等の社会情勢を意識し、仕事を通じて社会貢献に繋げています。

例えば、不用品回収や家財整理の際、不要品であっても価値のあるものは買い取りし、市や社協を通じて必要としている方へ寄付する活動をしています。これまでの実績として、冷蔵庫や洗濯機・テレビ等の家電や家具、子どもの服や靴があります。また、チャリティバザーを実施し、その売上金額を寄付する活動もしています。

その他にも、一人暮らしの高齢者では処分が難しい不要品や粗大ごみの回収、家財整理等も行っています。また、終活の意識が高まっていることからお葬式・お墓・思い出の整理や残し方についての相談も受けています。

社会全体を見ながら事業に取り組む視野の広さと細やかな対応、そしてフットワークの良さが印象的な「エヅリン」は、地域福祉活動の拠点となっています。

いつも元気ハツラツな江連社長

【株式会社　エヅリン】

□大田原本社
住　所：大田原市上石上1567-3
ＴＥＬ：0287－46－7669

□那須塩原支社(RVパーク那須塩原エヅリン)
住　所：那須塩原市一区町281-191
ＴＥＬ：0287－47－5671

～地域共生社会の実現に向けて～ 知的障がい啓発隊　カラフルBOX No.2

Q：地域共生社会って??

A：障がいがある、ないにかかわらず、女の人も男の人も、お年寄りも若い人も、すべての人がお互いの人権（わたしたちが幸せに暮らしていくための権利）や尊厳（その人の人格を尊いものと認めて敬うこと）を大切にし、支え合い、誰もが生き生きとした人生を送ることができる社会のこと。

知的障がい啓発隊『カラフルBOX』という名称は、一人ひとりに様々な人としての色（個性）があり、どんな人も地域の中で生きがいを持つことができ、互いに認め合いながら暮らせる地域をイメージしてつけられました。

その目的は、知的障がい・発達障がいがある方の見え方・聞こえ方・感じ方などを擬似体験してもらうことで、知的障がいや発達障がいに対する理解を深めてもらうことです。どのような活動をしているのか少し紹介します!!

体験に入る前に障がいについての話を聞きます

相手の言っていることが分からない時の戸惑いなどを絵を描くことで体験しています

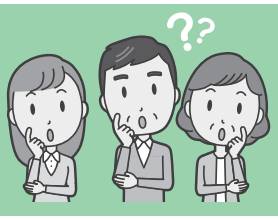
手先の不器用さを体験し、そのような時にどのような声かけをしたら良いかを考えます

興味のあるものに集中し、周りが見えなくなってしまう体験をしています

紹介した体験以外のプログラムもあります。この地域に多くの理解者が増えることが地域共生社会へつながっていきます。興味のある方は是非お問合せください!!

＜問合せ先＞　那須塩原市社会福祉協議会　地域支援係　TEL　0287－37－5122

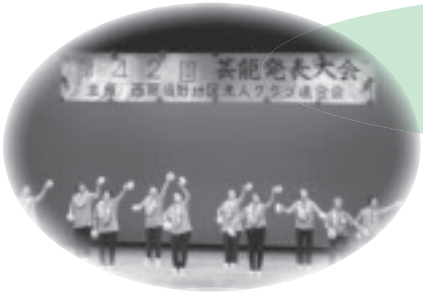
老人クラブってなあに？



老人クラブは、おおむね65歳以上の方を対象に、仲間づくりを通して、生きがいや健康づくり、生活を豊かにする活動を行うとともに、その知識や経験を生かして地域の諸団体と協働し地域を豊かにする社会活動に取り組み、明るい長寿社会づくり、保健福祉の向上に努めることを目的とした地域を基盤とする高齢者の自主的な組織です。

長い歴史と伝統ある老人クラブですが、市内でも地域ごとに試行錯誤や工夫を凝らしながら様々な活動に取り組んでおります。

各地区で行われている活動を紹介します。



健康づくり・生きがいづくり

各地区でスポーツ大会を開催しています。園児と共に競技を楽しんだりしています。また、中学生や高校生がボランティアとして協力してくれたりしています。

その他にも、趣向を凝らした事業等を開催し、つながり作りの機会となっています。

社会参加・地域貢献

地域の美化活動をしています。

また、地域の見守り活動やサロン活動を実施し、地域の安心・安全なまちづくりに努めています。

会員同士の教養講座や研修会も開催しています。

老人クラブでは他にも様々な取り組みをしています。今後も老人クラブの飛躍に期待します！！

また、老人クラブでは会員募集中ですので、興味・関心のある方は下記までご連絡ください。

＜問合せ先＞　那須塩原市社会福祉協議会　地域支援係　TEL　0287－37－5122

ボランティアセンターだより

『パラスポーツをやってみよう!』　～サウンドテーブルテニス～

『サウンドテーブルテニス』とは、全国障害者スポーツ大会の競技のひとつで、視覚に障害がある方でも出来る卓球です。

ルールは、一般的に行われている卓球と異なり、専用の卓球台を使い、音の鳴るピンポン球を卓球台から4.2㎝上げたネットの下を通して打ち合い点数を競うスポーツです。勝負のカギは音を聞き分ける集中力。アイマスクをして行うので、目の見える人も見えない人も一緒に楽しめるスポーツです。

ボランティアセンター本所では、サウンドテーブルテニスが体験できますので、やってみたい方はお問合せください。

体験することで、あなたのパラスポーツ※へのイメージが、ちょっと変わるかも!?

※パラスポーツとは、広く障がい者スポーツを表す言葉です。

家庭教育オピニオンリーダー『よもぎの会』のサウンドテーブルテニス体験の様子

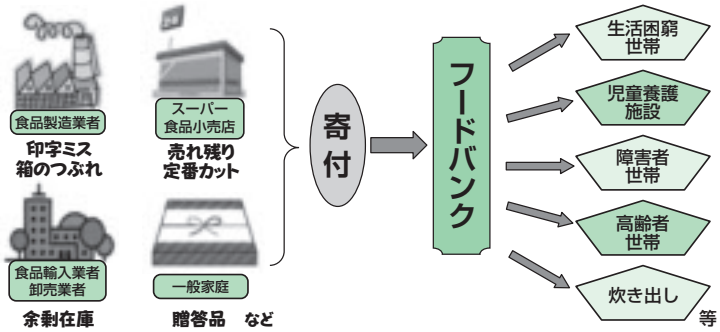
＜問合せ先＞
那須塩原市社会福祉協議会
ボランティアセンター本所
那須塩原市南郷屋5-163
健康長寿センター内
TEL　0287－47－6700

ご家庭や職場に眠っている食品をフードバンクにご寄付ください!!

フードバンクとは…

日本では、各家庭で１日135g（お茶碗一杯分）、年間289万トンの食べ物が廃棄されています（家庭系食品ロス）。また、我々の消費者の手元に届く前（売れ残り、規格外）に、安全に食べられるにも関わらず、年間357万トンの食品が廃棄されています（事業系食品ロス）。家庭系と事業系を併せた646万トンの食品ロスは日本の米の生産量の約８割にも上ります。一方で、日本には貧困線※以下の生活を強いられている人が1,668万人もいます。フードバンクはそうした食べ物を生活に困っている世帯など、支援を必要とする世帯に運び、有効に使ってもらう活動です。

※貧困線とは、それ以下の収入では最低限度の生活が維持できないと考えられる統計上の境界線のこと。



フードバンクは、無償で食品をいただいたものを、無償で寄贈する仕組みです。寄付していただいた食品は、生活に困っている世帯や福祉施設などに分配させていただきます。

＜問合せ先＞　フードバンク大田原　TEL　0287－48－6000
那須塩原市社会福祉協議会　生活支援係　TEL　0287－37－5122

第39回 ふれあい広場

恒例の福祉団体・ボランティアによる楽しい祭典！踊りや演奏を楽しんで、一緒に会場を盛り上げよう！フードコーナー、遊びコーナーなど多数出店！

9.28(土)　9：30～14：30　那珂川河畔公園　自由広場

たくさんの方のご来場お待ちしています!!

主催　第39回ふれあい広場実行委員会

まごころありがとうございます

令和元年５月１日～６月30日寄付分

次の方々からあたたかい寄付をいただきました。〔(　)の中は社協合併後、平成17年度からの通算回数、順不同、敬称略〕

福祉基金へ		
東那須野地区婦人会	(20回目)	10,000円
連合栃木那須地域協議会	(14回目)	12,000円
鈴木　智　SUZUKEN	(2回目)	5,000円
黒磯山草会	(25回目)	3,000円
榊原会館マルシェ	(4回目)	10,000円
古藤涼・碧	(20回目)	20,848円
県北歌謡ふれあいの会	(3回目)	20,000円
那須森の押花倶楽部	(1回目)	14,312円
福祉協力店	(2件)	10,524円
匿名	(10件)	46,529円

交通遺児基金へ		
レトロ三丁目㈱鈴木モータース	(2回目)	57,854円

善意銀行へ		
ニラク大田原加治屋店	(189回目)	菓子6箱
ガイアらくらく館黒磯店	(49回目)	菓子3箱
ZAPP西那須野	(107回目)	菓子16箱
時庭勝彦	(1回目)	雑巾55枚
高林生きがいサロン	(6回目)	タオル498枚
連合栃木那須地域協議会	(14回目)	タオル140枚
ワークマンプラス西那須野店	(2回目)	靴等204点
塩釜生きがいサロン	(9回目)	雑巾184枚
八木沢ふみ子	(2回目)	赤ちゃんの肌着等41点
東レ株式会社那須工場	(2回目)	作業服71点
浅田勝子	(23回目)	タオル等30枚
安藤庸雄	(1回目)	切手1972円分

連合栃木那須地域協議会　様

東レ株式会社那須工場　様

那須森の押花倶楽部　様

福祉協力店

誰にでもやさしい地域福祉活動の拠点

令和元年５月１日～６月30日までに、次の事業所にご登録いただきました。

事業所の名称（敬称略）	協力内容 ①	②	③	④	⑤
㈱テトテ那須野が原事業所	○	○	○		○
栃木トヨタ自動車株式会社黒磯店	○		○		

取組内容
①社協だより、ボランティア情報誌の設置　②募金箱の設置　③社協が実施する事業等のポスター掲示　④社協が運営する施設の製品販売　⑤その他、地域福祉への協力

地域支え合い推進員 佐々木は見た!!!

（ハロープラザ区担当）

シリーズ⑧

このコーナーは、地域支え合い推進員が地域で取り組んでいる様々な活動を紹介します。

篝根地区内にあるハロープラザは、公民館、図書館、出張所（行政）の複合施設で、地域住民の交流の場、学びの場として利用されています。また、子ども達の安心安全な居場所として活用されています。この地域は城鍬舞や嶽山篝根神社梵天上げなど伝統芸能が伝承され、歴史と伝統のある地区が多い地域です。

6月5日（水）には、児童から年配の方まで広く地域住民が、関谷小学校にて一緒に花の苗を植え、その後『塩原かるた』で世代間交流を楽しみました。他にもこの地区のサロンでは、継続して通学路清掃や神社清掃などの地域貢献活動も行っています。

自治会は、"見守り活動"を通して助け合っているところも多く、子ども達を守り育て、新しい時代へつなぎ、歴史を活かし、地域を創り上げている篝根地区です。

関谷万年青会

〈4･17（水）関谷小通学路美化活動〉
作業のあいだのひととき

宇都野御嶽会

〈6･5（水）関谷小ふるさとふれあい学習〉
ベゴニアなど約500本の苗を植栽

関谷こぶし会

〈5･8（水）関谷小正門前奉仕活動〉
通学路除草作業の様子

今後もあなたの地域の「宝物」となるような活動を見つけに行きます！

隣の家で起きているかも…

～生活困窮者自立支援事業から～

Vol.⑧

今回は、母親の介護に悩む、60代男性、Fさんからの相談です。

「母親から目が離せません…。このままじゃいつか生活できなくなってしまう。」と話すFさん。同居する母親は80代。1ヶ月前から買い物に行った後、道に迷い、家に帰れなくなったり、突然遠方の友人に会いに行くと言って出かけ、家から遠く離れたところで警察に保護されることがありました。また、近所の家から自転車を勝手に乗り出してしまう等、これまで見たことのない行動をする母親を見て、Fさんは「近所に迷惑をかけたくない」と、仕事を長期休暇し母親の見守りをすることに…。

母親の行動が理解できない

昨年、父親が他界。母親と2人世帯になる。精神的に落ち込んだ母親は家にひきこもるようになったと言います。

Fさんが母親の行動に疑問を感じたのは3ヶ月程前から。そのような行動は徐々に頻度が増していったと。徐々に母親でなくなっていく姿に不安を感じていました。

新たに発覚した3つの問題

1つ目は、収入について。母親をできるだけ1人にしないように、仕事を長期休暇したFさん。アルバイトのため給与補償がなく、少しの蓄えでは、いつまでもつかわからない状況。

2つ目は、Fさんの体調について。以前から肝臓が悪いということもありましたが、最近は介護ストレスもあり、動くことも億劫になっている状況。

3つ目は受診ができないこと。お金の心配と母親から目が離せないことを理由に病院に行けていない。

問題解決に向けて

Fさんは、様々な問題を抱え、どう解決するか考えられない状況でしたが仕事をしたいという考えを持っていました。まずは、生活再建のためにFさん自身の早急な治療と母親の医療や介護サービスを利用することで自宅での介護と仕事の両立を提案しました。しかし、先のことを考えると不安が拭い切れないFさん…。今後も相談に乗っていくことになりました。

Fさん家族に限らず、問題を抱える方は、自らの問題を言えず、孤立します。それに合わせ、近隣も問題に気付くことができず、さらに孤立が深まります。孤立は問題を深刻化する大きな原因です。周りの方の理解が必要です。ご近所同士が声を掛け合える関係性が継続できる地域でありたいですね。

自分自身、家族のこと、地域で気になる人のこと、どんなことでも先ずはお話を聴かせてください。私たちと一緒に考えましょう。

那須塩原市社会福祉協議会　生活支援係　TEL：0287-37-6833（直通）　✉：seikatsu@ns-shakyou.jp

発行　社会福祉法人 那須塩原市社会福祉協議会
住所　〒329-2705　那須塩原市南郷屋5丁目163番地（健康長寿センター内）
TEL 0287－37－5122　FAX 0287－36－8710
ホームページアドレス http://ns-shakyou.jp/　Eメールアドレス info@ns-shakyou.jp

この社協だよりは、地域のみなさまからのご寄付や会費が財源となっています。